

令和4年度卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、長内校長先生をはじめ諸先生の皆様にも、重ねてお祝いを申し上げます。

令和2年5月から、東京青高同窓会会長を務めております青高27回生の松山正弘と申します。

このように私が青森高校の壇上に立つのは、かなり前の記憶なので定かではありませんが、今回で三度目になると思います。一度目は高校二年生の時、バスケットボール部に所属し、新人戦で優勝したことで東北大会参加の壮行会が開かれた時、二度目は卒業式の時でした。昨年まで、新型コロナウイルスの感染懸念により控えさせていただきましたが、やっと対面でご挨拶をさせていただくことができることをうれしく思います。

私の高校時代を振り返ってみますと、ほとんど休みも無く、バスケットボールばかりしていました。そんな私に対して、先生方からは追い立てるように勉強を教えていただいた記憶があります。先生方の厳しさがあったからこそ、今の自分があることは間違いありませんので、今更ではありますが母校には感謝しております。

卒業生の皆さんは、新型コロナウイルスに翻弄された3年間だったと思います。これまでに経験したことのない状況で、青森高校の生徒として、「自律自啓・誠実勤勉・和協責任」のもと、学生の本分である勉強はもちろん、クラブ活動等も頑張ったことで、これまでの多くの卒業生と同様、伝統の1ページを立派に飾ってくれました。そして、様々な失敗や成功を糧にまた新たな道へと進むこととなります。

新型コロナウイルスは多くの社会変革をもたらしています。私の勤務先ではテレワーク、WEB会議、時差通勤、体調管理のための検温、手指の消毒の励行等が行なわれ、対面による会議や講演会はほとんどWEBで行なわれるようになりました。最近では、新型コロナウイルスの沈静化に伴って、対面とWEBを併用するハイブリットで行うことが主体となっています。しかし、対面での参加者は少なく、WEBでの参加者が多い状況で、新型コロナウイルス感染を懸念される方がまだ多いと感じています。しかしながら、WEBでは印象に残らないのに、対面では

印象に残ることが確認され、やはり、対面は有意義であること再認識しています。

学校でも似たような形で行なわれていることと思いますが、これらの変革は必ずしも全てうまく行なわれているわけではなく、多くの問題を抱えています。そんな中で卒業される皆さんは、社会の多くの課題に対して新たな答えを見いだす期待を背負っているのではないのでしょうか？学ぶことがたくさんあって大変であることは間違いありませんが、自分の考えを理論的に説明できるまで思考し、それに新たな知見を加えていけば、また新たな答えを見いだすことが可能だと考えられます。いずれにしても、卒業生の皆さんが新たな変革者として期待されていることは間違いありませんし、失敗してもある程度のことは許される立場ですので、果敢に挑戦してみてください。その挑戦は、私のような年代にとっても新たな刺激となって、自らを成長させてくれることになると考えています。

次に、東京青高同窓会の活動をご紹介させていただきます。皆さんの中には、4月から東京近辺に来られる方もおられると思います。

東京青高同窓会は、旧制青森中学校の卒業生が創設した「東京青中会」から始まる歴史を持ち、県外にある同窓会としては、最も多くの同窓生が所属しており、東京またはその周辺に在住する会員で構成されています。

会の目的は、同じ学舎で過ごした同窓との出会いを懐かしみ、喜びに加えて、世代を超えた同窓が互いに刺激し、学び、助け合うことで、人生を豊かなものにする事としてしています。

本日、皆さんが入会される青森高校同窓会から独立した組織として、独自の活動を続けているものの、相互に親睦ならびに連携を深めております。

例年、5月に上野の精養軒において350名ほどの卒業生が集う東京青高同窓会総会ならびに懇親会を開催し、その年の春に青森高校を卒業された方を無料でご招待するなど、毎年多くの方に参加していただいております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染対策のため、一昨年は中止、昨年はWEB開催、今年は5月14日13時から対面とWEBのハイブリッド開催となります。今年の総会の開催案内、参加申し込み方法等の詳しいことは、東京青高同窓会の

ホームページに掲載されております。また、東京青高同窓会からみなさんへお配りします卒業記念品に添えられている QR コードからも、東京青高同窓会ホームページや総会の参加申し込みにアクセスできます。感染対策のため、対面は30名に参加者を制限、かつ年齢の高い方を優先させていただいていることから、卒業生の皆さんはWEBでご参加いただければと思います。

結びに、皆さんの未来に幸多かれと祈念し、諸先生方のご労苦に感謝申し上げ、青森高校のご発展を祈念して、祝辞と致します。

令和5年2月28日

東京青高同窓会会長 27回生 松山正弘